



# このはな

発行所 松山市青少年育成  
支援委員協議会

発行人 会長 野間逸元

## 会長挨拶

松山市青少年育成支援委員協議会 会長  
野間逸元



師走の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

お陰様で、令和5年5月23日に、青少年育成支援委員協議会の総会を開催し、誠に、退任された功績の顕著な方々に対して感謝状をお渡しして感謝の気持ちを伝えることができたことを心

援していくことが、彼らの健全育成につながると信じています。

最近、巡回活動で子どもたちを見かけなくなったりという話をよく耳にします。確かに少子化の時代で遊び方も変わりましたが、本当に子どもたちが外で活動しなくなつたのでしょうか。

私たちは、子どもたちの顔を見るためにどのようにすればいいのか、巡回活動の仕方を考えていく必要があります。

地域の子どもたちは、どのような時間帯にどの場所です、どんな活動をしているのでしょうか。関係機関の方々に尋ね、その情報をもとに巡回活動のスケジュールに反映させましょう。子どもたちに会えるように、私たちの活動を少し変えてみませんか。私たちは一人

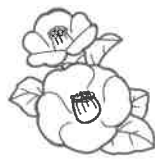
でも多くの子どもたちに声をかけ、支援していくことを目指しています。皆様には、ご協力をお願いいたします。

「マックネットCSC(シーエスシー)」協議会専用の登録です。まだの方は、お手数ですが新たに登録をお願いいたします。

また、引き続き「巡回見守りカード」の配布もお願いいたします。

これからも本協議会の活動へのご支援、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、これまでにご寄付頂きました皆様には厚くお礼申し上げます。



## センター所長挨拶

教育支援センター事務所長  
千原裕二



青少年育成支援委員の皆様におかれましては、日頃から青少年の健全育成にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

私は、令和五年四月から

松山市教育支援センター事務所長として着任しました。本年は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類へ移行されたことに伴い、山まつりや土曜夜市、各種会議など様々な事業が通常通り開催できるようになり、多くの方々に巡回活動や見守り活動にご尽力いただき、本当にありがとうございます。

さて、最近の少年問題を

見てみますと、スマートフォン、SNS、マッチングアプリ等の利用をきっかけとした誘拐や殺人等、子どもたちの安全・安心環境が脅かされ心を痛める事件・事故等が後を絶ちません。また、少年による大麻等の薬物乱用、犯罪組織の闇バイトに応募した若者による強盗事件等が大きく報道されるなど、少年を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、松山市でも、繁華街に集まった少年らによる飲酒、喫煙等の情報が寄せられるなど、子どもたちの行動に注意が必要になっていきます。

こうした情勢の中、本市では、心身に未熟な子どもたちを導き、子どもたちを社会全体で育むことが重要であり、こういった問題への対応は、行政の力だけでは解決が難しく、皆様のご協力を得ながら健全育成や見守り強化に取り組むたいと考えています。

終わりになりますが、皆様には引き続き、相互の連携のもと、子どもたちへの温かい愛情とまなざしを持って地域の子どもたちが安全に安心して成長できる環境づくりのためにご協力くださいますようお願いいたします。

## 第二回 松山市青少年育成支援委員研修会

道後中校区 坂本淑子

さる、令和五年十月二十七日(金)松山市青少年センター大ホールにて、第二回研修会が行われ、愛媛県警察本部、生活安全部、人身安全対策少年課、少年対策課長補佐猪野桂子氏を講師に「非行少年を生まない地域づくり」と題してご講演頂きました。

ここ数年、少子化等の影響で少年非行は減少しているものの、その中でも中学生の犯罪が一番多く、三割の少年が再犯であり、犯罪の種類も付きまとい等の迷惑行為・大麻での逮捕等も多いとの事でした。また、誹謗中傷でも逮捕されるそうです。

また、スマホの所有率が中学生は八十一%で利用時

## 令和五年度 少年の主張大会

拓南中校区 土居博子

中学生が日頃考えていることや社会への意見などを訴える「愛媛の未来をひらく少年の主張大会」が、八月五日(土)に県生涯学習センターで開催されました。

本大会は、県と県教育委員会・県青少年育成協議会などが共催し、今年で四十五回目となります。県内十一の中学校から千五百六十人の作品から選ばれた十

人が熱弁をふるいました。優秀賞には新居浜市西中三年生の高橋璃桜さんと松山市内宮中二年矢葺一虎さんが選ばれました。

「最期までどう生きたい?」と題して発表した新居浜市萩中三年水田葵彩さんが最優秀賞に選ばれ、東京である全国大会への出場候補者として推薦されました。

# 令和5年度 第52回四国地区少年補導センター 連絡協議会「香川県大会」に参加して

城西中学校 川添 紀明

9月23日朝、野間会長をはじめ11名の少年育成支援委員のメンバーが、第52回四国地区少年補導センター連絡協議会「香川県大会」に参加するため、バスに乗車し香川県東かがわ市の瀬戸内リゾート ベッセルおうちへ向かいました。瀬戸内リゾート ベッセルお

ちは、高松を過ぎてかなり徳島県へ近づいた海辺の眺望の良い場所にあるイベントホールです。研修大会が街の中心部で行われることが多い中、天気も良くリゾート気分を感じる場所での研修は、新鮮でした。

12時過ぎに会場に着くと、急ぎ立てられるようにホールへ案内され、直ぐに地元大内小学校4年生から6年生の人形劇が始まりました。人形劇は「何故香川の人はうどんを食べるようになったか」という、香川県にとつて最もふさわしい内容でした。小学生の手作りで元氣あふれるほのぼのとした人形劇に、思わず見入ってしまいました。

四国地区少年補導センター連絡協議会 米谷利彦 大会会長あいさつのなかで「コロナによる3年間の休会后、初めての大会になります」との言葉があり、つい最近までパンデミックに支配されていた現状が頭に浮かびます。

13時30分より、香川大学

教育学部准教授博士(人間科学) 大久保智生先生による

「地域における犯罪・見守り活動の今と将来の展望について」犯罪アプリや学生ボランティアの活動を通してと題して講演して頂きました。

これは、犯罪の背景理論として従来の○犯罪原因論 ↓人(不審者)に注目から ○犯罪機会論 ↓場所に注目とする考えで、「犯罪が起きやすい場所」として

①死角で見えにくい場所 ②死角がなくても見えにくい場所 ③管理が行き届いていない場所 ④不特定多数の人が集まる場所

の4つがあり、この犯罪が起きやすい場所のスポットパトロールを行い犯罪を未然に防ぐという考えです。また、パトロールを効率的に行うためにアプリを使った防犯マップの作成と利用の案内がありました。

今回の講演内容は、論理的であり、説得力があり、現実的に思えました。ただ大事なのは、この会場に居る一部の支援委員(補導委員)だけが知っているだけではダメで、全ての支援委員・小中高の教員・一般保護者・地域役員が知り、利用、活動する事が最大だと思えます。その事が最大の

課題です。大久保先生からは、「交通費だけ出して頂ければ何処へでも行って講演します」との心強いお言葉を頂きました。



最後に閉会行事として、改めて、米谷大会会長のあいさつがありました。そのなかで本大会前、四国4県の地区少年補導センター連絡協議会会長が、「四国地区少年補導センター連絡協議会定期大会を終了する」旨の発表がありました。理由は、大会スタッフの負担増と経費増の問題によるとのことでした。コロナ後の最初の研修大会であり、先程の素晴らしい研修の後でもあり、心寂しい思いでした。しかし、状況がどの様であれ、子どもたちを守り抜く活動は必要で、それを考え、行動する事の中に私たち育成支援委員の意味がある様に思えます。

## 今後の予定

- 令和五年 十二月十二日 第二回理事会
- 二五日 松山子ども安心安全パトロール
- 令和六年 一月二十三日 第三回松山市青少年育成支援員研修会
- 二月四日～五日 県外研修旅行
- 大宰府天満宮・吉野ケ里遺跡と嬉野温泉
- 二月十六・十七・十八日 椿祭り特別巡回
- 三月五日 第三回理事会
- 三月末 このはな第四号 発行
- 四月 令和五年度会計監査

## 令和5年度松山市青少年育成支援委員 感謝状受賞者一覧

氏名	校区	活動年数
安田 千里	三津浜	30年
野本 千鶴子	道後	27年
大野 咲代子	東	24年
西原 尚子	道後	22年
尾崎 光男	道後	17年
三浦 新次	雄新	14年
中西 恒博	鴨川	14年
大森 ひとみ	久谷	14年
井門 敬三	南第二	14年
杉野 尚志	興居島	12年
羽倉 満	勝山	10年
和氣 余志子	三津浜	10年
客野 恵子	三津浜	10年
村上 洋子	津田	10年
尾海 博美	東	7年
橋田 節子	津田	6年

長い間巡回に尽力され、青少年の健全育成に努めていただきありがとうございました。

## 令和五年度 定例総会

令和五年度松山市青少年育成支援委員協議会定例総会が令和五年五月二十三日、青少年センターにおいて開催されました。会長あいさつの後、来賓祝辞を前田教育長並びに渡部東警察署長にいただきました。第一号議案から第四号議案を審議しました。

## 新役員名簿

顧問	会長	副会長	監事	事務局	次長	書記	校区理事
桑原 晃一	湯山 敬造	日浦 博海	旭西 智行	三津浜 赤崎 重弘	高居島 中崎 裕二	津田 関谷 美智子	興居島 田中 祐二
桑原 晃一	湯山 敬造	日浦 博海	旭西 智行	三津浜 赤崎 重弘	高居島 中崎 裕二	津田 関谷 美智子	興居島 田中 祐二
桑原 晃一	湯山 敬造	日浦 博海	旭西 智行	三津浜 赤崎 重弘	高居島 中崎 裕二	津田 関谷 美智子	興居島 田中 祐二

## 編集後記

今年度初めて広報部になり、至らない点も多々あると思いますが、皆様のお力をお借りしながら尽力してまいります。今回「このはな」の発行にあたり、ご協力頂いた皆様並びに原稿をお寄せ頂いた皆様には心よりお礼申し上げます。今後とも育成支援委員相互の情報共有ができるよう、紙面の充実に努めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。 広報部部長 石川 暁久 広報部一同